

令和4年度入学試験問題

小論文

注意事項

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. この冊子は全部で12ページあります。
3. **I** , **II** の全2問に解答してください。
4. それぞれの問題について解答用紙が配布してあります。この他に下書用紙も配布してあります。解答用紙には受験番号を記入する欄がありますが、下書用紙にはありません。間違えないようにしてください。
5. 受験番号は解答用紙の指定された箇所に記入してください。決して氏名を書いてはいけません。
6. 試験終了後、解答用紙を回収します。
7. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。





I 次の文章は、ドイツに移住しドイツ語・日本語の両言語で執筆活動を行っている日本人作家、多和田葉子のインタビュー記事である。これを読み、以下の設問に答えなさい。(配点 100 点)



(Madeleine Thien, "A Conversation with Yoko Tawada", *Brick. A Literary Journal*, 105, 2020 より pp. 110-111。ただし、文章の一部を改変したところがある。)

語注

\**The Naked Eye* 多和田葉子の小説の題名(英訳版)。ドイツ語版および日本語版は2004年、英訳は2009年に刊行された。日本語版の題名は『旅をする裸の眼』。

\*Susan Bernofsky 翻訳家

\*cumulative 累積的な

\*du/Sie ドイツ語の二人称(単数)。前者は友達など親しい間柄で使われ、後者は目上の人や上司、先生、初対面の人物との会話などで使われる。

問1 下線部に関して、著者は小説 *The Naked Eye* (邦題『旅をする裸の眼』) をそれまでに試したことのない執筆法で書いたと述べている。それはどのような方法か、80字以内で説明しなさい。(配点20点)

問2 母語と非母語(あるいは母方言と異方言)を行き来することによってもたらされる知的・文化的な気づきはどのようなものだと考えられるか。本文全体(特に「中略」以降の文)を参考にして、あなたの考えを500字程度で述べなさい。(配点80点)



Ⅱ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(配点 100 点)









(茨木のり子『詩のころを読む』岩波書店, 1979年, pp. 100-110。一部改変, 原文縦書き)

問1 下線部①について「生きとし生けるもの、いずれか歌をよまざりける」の意味を述べた上で、著者がなぜこの一文を引用したのか、本文の内容に即して130字以内で説明しなさい。(配点20点)

問2 以下の問いに答えなさい。(配点80点)

(1) 著者は1962年の「住居表示に関する法律」に対し、下線部②のように批判している。しかし同法令により、町の境界が明確になった例や、建物ごとに規則的に番号が付される等、街区の整備が図られた側面もある。これを踏まえた上で、著者の批判に対し、行政側の立場から反論しなさい。その際、まず著者の主張を簡潔にまとめた上で、同法令によってもたらされ得る利点を具体的に挙げつつ、300字以内で論じること。(30点)

(2) 「伝統をどのような形でいかに継承するか」という問題について、地名以外の具体例を挙げながら、あなたの考えを400字以内で述べなさい。その際、「伝統」を自身の言葉で定義した上で、以下のキーワードすべてに触れつつ論じること。(50点)

キーワード：記憶、変化、集団



